



教育センターニュース



四日市市教育委員会 教育支援課

〒510-0085 四日市市諏訪町 2-2 (四日市市総合会館6階)

TEL 354-8283 (代) FAX 359-0280

ホームページ <http://www.yokkaichi.ed.jp/e-center/>

教育支援課マスコットキャラクター
しえん君



教育支援課 研修・研究グループ

公開研修会・研修講座について

「問題解決能力向上のための授業づくり」への理解を深めるため、公開研修会・研修講座に参加しよう！

公開研修会の詳細については、期日が近づきましたら、学校掲示板をチェックしてください。

日時	内容(予定)	講師
令和元年9月25日(水)	橋北中学校 公開授業	(株)フォー・ネクスト 大西貞憲 先生 (教育コンサルタント)
令和元年10月9日(水)	講演(仮)「問題解決能力の向上を目指した授業づくり」 羽津中学校区公開授業(羽津北小学校)	羽津中学校区教職員 早稲田大学教育総合科学術院 教授 小林 宏己 先生
令和元年11月1日(金)	浜田小学校 公開授業	三重学びのネットワーク代表 石井 順治先生
令和元年12月5日(木)	講演(仮)「問題解決能力の向上を目指した授業づくり」 羽津中学校区公開授業(羽津中学校)	羽津中学校区教職員 早稲田大学教育総合科学術院 教授 小林 宏己 先生
令和2年1月29日(水)	内部小学校 公開授業	(株)フォー・ネクスト 大西貞憲 先生 (教育コンサルタント)

港中学校・三重小学校の公開授業については、詳細が決まり次第お知らせします。

全小学校に各校40台のタブレット端末を導入します



新学習指導要領の総則において、ICT環境を整備する必要性が規定されるとともに、学習の基盤となる資質能力の一つとして、情報活用能力が位置付けられました。四日市市では、児童・生徒の情報活用能力の育成を目指して、小学校に各校40台のタブレット端末の導入を行い、中学校での導入も進めていきます。児童・生徒の情報活用能力向上には、先生方の理解が重要です。導入機器を使った実践的な夏季研修講座や各校への出前研修に、積極的な申し込みをお願いします。

タブレット端末を活用した授業のイメージ

調査活動

インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録

習熟度に応じた個別学習

一人一人の習熟の程度等に応じた学習

発表や話し合い

グループや学級全体での発表・話し合い

協働での意見整理

複数の意見・考えを議論して整理

思考を深める学習

シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習

表現・制作

マルチメディアを用いた資料、作品の制作

協働制作

グループでの分担、協働による作品の制作

グループでの振り返り

体育で運動を動画撮影・再生して、グループで改善点などを確認



1

特別支援学級担任として、心に留めてほしいこと

特別支援学級担任には、専門的な知識も必要ですが、それ以前に大切な心得があります。4月の特別支援教育研究協議会でもお話ししたのですが、心に留めておいてください。

【子どもに対して】

「特別な支援」というより「個別の支援」という意識で、子どもは一人ずつ違います。よき理解者でありたいものです。

【保護者に対して】

わからないことがあっても、「よくわからないんです」と軽率に答えない。「確認しておきます」などと、場面や内容に応じて丁寧に対応し、信頼関係を築きましょう。

【校内で】

校内の「一担当者」というだけではなく、学校（教職員）の中心的存在に。教職員の相互理解につながるよう、発信・連携・共有を意識しましょう。



2

特別支援学級でパソコンを活用しよう！

中学校の特別支援学級には、指導用タブレット（2 in 1パソコン）が配備されています。（小学校にも9月に配備されます。）すぐ使えますので、活用しましょう。

【1日10分程度、認知機能トレーニングに活用！】

「ビジョントレーニング」か「こども脳機能バランサー」を使います。例えば「ビジョントレーニング」では、眼球運動を中心に「見る」力の基本的な能力を高めることができます。

【デジタル教科書を活用！】

英語のデジタル教科書は、ボタンを押すと英文を何度もリピートできます。分かりやすい映像や、英単語のフラッシュカード等も入っているので、おすすめです。

【他にも活用方法が！】

修学旅行に向けて、実際に行く場所の見通しを持たせるために、Google earth を使ってみては？！（説明会用パワーポイントを事前に見せてもよいでしょう。）



3

学校における合理的配慮について（四日市版インクルDBより）

「四日市版インクルDB」は、市内の小・中学校における合理的配慮の事例集です。掲載事例は全て、特別支援教育コーディネーターから提供いただいたものです。（ご協力ありがとうございました。）各校・園に冊子を配付しましたので、合理的配慮の検討や校内研修会等に役立ててください。電子版は、四日市市教育センターのホームページ（右のQRコード）が学校・園事務関連データベース（職員のみ閲覧可能）からダウンロードすることができます。



小学校1年生 通常学級 作文の事例（四日市版インクルDB p34に掲載）

【専門機関による助言】

感想や自分で思ったことを書く際に戸惑いを見せることがある。自分で表現することができるように、こちらが選択肢やヒントを与えることが必要。（あけぼの学園の保育所等訪問支援より）

【困難さの状態】

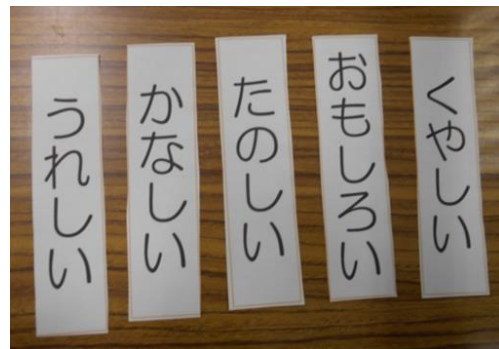
思ったことや、考えたことなど、答えが明確でないものを書く際、かたまってしまう。何か書こうとはするが、「書いては消す」を繰り返す姿から、どのように表現したらいいのかが分からないように感じる。

【手立て】

感想文などを書く際、「うれしかった」「かなしかった」などの、選択肢を与えるようにする。

【配慮の意図】

ヒントや選択肢を与え、「書けた」という成功体験を与えることにより、自信をもって取り組むことができるようにする。学習意欲はあるため、「こうやって書いたらいいんだ。」という安心感を与えたい。



【評価】

1学期や2学期に比べて、気持ちや考えたことを、少しずつ書けるようになってきた、行事後の作文や、昨日見たテレビの話など、自分の力で感想を書こうとする姿が見られた。



登校サポートセンター（ふれあい）

この春、四日市市勤労者・市民交流センター（北館）の教育委員会への移管に伴い、四日市市登校サポートセンター（ふれあい）が新たにスタートしました。スタッフの増員、施設の改修により、下記のように、相談支援体制が充実します。

各学校において、「不登校を未然に防ぐ」取り組みを進めるとともに、不登校児童生徒の支援について、登校サポートセンター（ふれあい）をご活用いただきますようお願いいたします。



- ① 指導員・相談員の増員（11人⇒13人）… 通級生へのより細かな支援が期待できるとともに、希望する保護者の方の定期的な相談も可能になります。
- ② セラピストの配置の増加（週2回⇒毎日）… より多くの心理的ケアを必要とする通級生の対応が可能になり、初回面談までの待ち時間が短くなります。
- ③ 相談室の増設（2部屋⇒5部屋）… 相談枠が拡大して、個別対応を週複数回行うことが可能になります。
- ④ 学習室の増設（1部屋⇒4部屋）… 教科学習や定期的な振り返りを、小学生、中学生が校種や学年別に行うことが可能になります。

7～9月に改装工事を行います。工事期間やその間の相談支援については、後日説明します。